



農林高校だより

ホットな情報を知りたい場合は↓

下高井農林高等学校

検索

<http://www.nagano-c.ed.jp/nourinn/>
TEL 0269-82-3115 (代)

9/7 ほうきサミットへの取り組み ～伝統産業「小沼ほうき」を守りたい～

小沼ほうきは、明治時代に飯山市常盤小沼地区の農家の方々が、冬場の副業として生産されていた伝統産業です。戦後から1950年代半ばにはひと冬で3万本程も生産され、地元ではリヤカーで販売されていました。しかし、電化製品の誕生などによって、ほうきの需要が年々少なくなり衰退していきました。明治時代から受け継がれ、その技術を継承してきた「小沼ほうき生産組合」も高齢化による後継者不足が原因で解散という危機にさらされました。しかし、小沼地区の50代から60代の方々が中心となり、地域の伝統産業を守ろうという動きの中、「小沼ほうき振興会」が発足しました。時を同じくして、下高井農林高校グリーンデザイン科地域資源活用コースでも、小沼ほうきを地域資源ととらえ、伝統産業を何とかして残せないかという活動が始まっています。本校の生徒も「小沼ほうき振興会」に入会し、技術を学びながら振興会の一員として活動をしています。

「地域に残る伝統産業を下高井農林高校で守りたい」、「技術の継承に携わりたい」という思いがあります。その取り組みのひとつとして、第1回ほうきサミットを開催しました。テーマを「地域の課題を探る～伝統産業「小沼ほうき」伝承への取り組み～」に設定し、約40人の参加者にミニほうき作りを指導しました。これからは、確かな技術を学び、伝え、100年という歴史の重みを感じながら伝統産業を守れたらと考えています。



お知らせ

10/13(日) 10:00~14:30

農林祭一般公開

多くの皆様のご来校をお待ちしております!!

- ★ 農林市 (野菜、農林ケチャップ、ジャム販売)
- ★ 手打ちそば (そば班によるそば打ちの実演あり)

農業クラブ 農村文化研究クラブの取り組み

本研究クラブは、飯山市より高校生チャレンジ活動支援事業でご支援を頂き、「カブトムシの飼育」を中心に活動を行っています。私たちの活動のきっかけは、子どもの頃に体験したカブトムシ採取の楽しい記憶から、多くの昆虫が生息している、この北信濃の里山へたくさんの人に訪れていただき、特に都市部の子どもたちに飼育・観察をしてもらい、この豊かな里山に目を向けてもらえるようにしたいと考えたからです。

都市部の子どもたちにも自然豊かな北信濃の環境を見直すきっかけとなるよう、カブトムシの飼育、繁殖を通して飯山市の魅力を発信していきたいと思ひます。



9/13 1年生日帰り研修旅行

1年生の日帰り研修旅行が行われました。体調不良などで休むことなく、全員揃って出発することができました。生徒たちの普段の行いが良いためか、当日は天気に恵まれました。

午前中は就職希望者と進学希望者の2グループに分かれ、研修先に向かいました。就職希望グループが訪れた上越火力発電所では、電気の大切さを痛切に感じました。台風の影響による千葉県の長引く停電状況を考えると、普段の生活に電気がいかに必要かを思い知らされます。一方、進学希望グループが訪れた上越公務員・情報ビジネス専門学校では、初級公務員の試験問題を数問解き、自信が出てきた生徒もいました。また、VRゴーグルを装着してのBEAT SABERも楽しみました。

午後に訪れた、上越市埋蔵文化財センターでは「上杉おもてなし武将隊」の1人である「十吾郎」さんにミニ解説をしていただきました。その後、上越平和記念公園展示館を来訪し、平和な日常生活のありがたさを感じました。

最後に訪れた上越市立水族博物館は、多くの生徒が訪れるのを楽しみにしていたため、もっと時間がほしかったようです。イルカショーでは、最前列に座ってイルカのジャンプによる水しぶきを浴びた生徒もあり、ずいぶん楽しそうでした。帰りの到着時間も予定どおりで全員無事に帰ることができました。



9/11~13 2年生研修旅行

2年生63名は中部・関西方面へ研修旅行に行きました。飯山駅からバスで出発し、木曽、岐阜県を通り、大阪へ向かいました。木曽漆器館・木曽くらしの工芸館、各務原航空宇宙博物館、大阪府立大学植物工場、ユニバーサルスタジオジャパン、あべのハルカス、ニフレルなどを訪れました。木曽での絵付け、削り出し体験では地元長野県の伝統産業を楽しく学ぶことができました。作品は食品サンプルとともに農林祭で展示しますので、ぜひご覧下さい。現地の食事もおいしく、バイキングではお皿にたくさん盛り付け、串カツ店でもおなかいっぱい食べていました。宿泊したホテルは新しく、建物が見えてくるとバスでは歓声が上がっていました。大都会である大阪の人の多さに戸惑い、夜景の美しさに感動し、ぜいたくな2泊3日となりました。アグリサービス科は植物工場、グリーンデザイン科はあべのハルカスを訪れ、生産・建設現場の最先端技術についても学ぶことができました。難しい話もありましたが、真剣に話を聞き、普段できない貴重な体験をすることができました。

しかし、今回一番楽しみにしていたのはUSJではないでしょうか。時間いっぱいまでアトラクションを回り、買い物を楽しみ、思う存分満喫していました。最終日は天気こそ曇り空でしたが、ニフレルやららぼーとを笑顔で回っていました。友人達と大いに楽しんだ3日間となりました。



9/18 シブガキ応援隊事前学習会

グリーンデザイン科2年生緑地系の生徒22名は、長野県北信地域振興局林務課の皆様にご支援を賜り、長野県クマ対策員で信州ツキノワグマ研究会の浜口あかり氏をお招きして、「ツキノワグマの生態と被害対策」について学習しました。

今回の講演会は、シブガキ応援隊が実際にシブ柿を収穫に行く事前学習として、生徒たちが熊の生態や行動パターンなどを学習し、今後の活動に取り組むための良い機会となりました。



9/20 北竜湖カヌー体験

グリーンデザイン科2年生の生徒32名は、学校近くの北竜湖でカヌー体験を実施しました。この体験を通して、北信地域の豊かな自然環境の活用方法を学び、多くの人にきていただくためにはどのようなことが必要になるのか学習しました。

講演会では、パワードライブR117代表庚敏久様より、飯山市で企業したきっかけやこの地域の自然環境についてご講演いただき、「近くに住んでいるとわからないけど、少し離れるとその価値がわかる」という内容に、生徒たちは豊かな自然環境の価値について各自考えていました。その後、カヌーに乗るための事前学習として2人1組でパドルの使い方や緊急事態の対処方法を学び、2人乗りのカヌーに乗って湖面へ漕ぎ出しました。普段見ることができない湖面からの景色はとて新鮮で新しい発見ができました。

